

演奏と語りと映像、そしてライブ・ペインティング
 時空を超えて現代に甦る一大絵巻!!

祇園精舎の鐘の聲、 諸行無常の響きあり。



ジム・オルーク (Jim O'Rourke)

ギター

1969年シカゴ出身。10代後半にデレク・ベイリーと出会い、ギターの即興演奏を始める。その後、実験的要素の強い自身の作品を発表、“シカゴ音響系”と呼ばれるカテゴリーを確立。また、マース・カンガム舞踊団の音楽を担当するなど、現代音楽とポスト・ロックの橋渡しの存在となる。1999年にはソロアルバム『ユリイカ』を発表、また、ソニック・ユースのメンバー兼音楽監督としても活動して、より広範な支持を得る。近年は東京を活動拠点に、様々なジャンルを横断したプロジェクトを展開して新しい音楽シーンを牽引する。

福原千鶴 (ふきはら・ちづる)

小鼓

小鼓をはじめとした邦楽打楽器を演奏する囃子方として、日本舞踊、箏曲等との演奏を国内外で行う。また、現代詩と音楽による演奏団体「VOICE SPACE」のメンバーとして、谷川俊太郎、小室等、二代目高橋竹山等とのコラボレーションに参加する。さらに、2013年よりは泉鏡花作品を軸にスガダイロー、日比谷カタンとの「朗読幻奏」を主宰し、朗読ゲストに京極夏彦、山口崇を迎えた公演を開催する。2015年春には、東京都現代美術館「山口小夜子 未来を着る人」で上映された山川冬樹の映像作品『その人が見た未来は僕らの現在』の録音に参加。このほか、TVの大河ドラマ『平清盛』『義経』『篤姫』等にも出演している。

中山晃子 (なかやま・あきこ)

ライブ・ペインティング

色彩と流動性によって、うつろいゆく現象を絵画として描くアーティスト。主な活動である“Alive Painting”では、様々な性質を持つ液体を流転させ、見る者に要素の流れがもたらす美的な快楽と、様々な景色や生命を想起させる。近年では、自ら音も絵も同時に奏でるソロパフォーマンスと、その排水を紙に定着させる二対の制作を精力的に行う。扱うメディアは多岐にわたるが、一貫して異なるもの同士の生き生きとした関係性を描く。TEDxHaneda, Audiovisual Media festival 2015 (台湾)、Multiple Tap EURO tour等、国内外問わず活動の場を広げている。

坂田明 (さかた・あきら) アルト・サクソ、クラリネット、朗読

1945年広島県出身。1969年上京、“細胞分裂”を結成。1972年から1979年末まで山下洋輔トリオに在籍。1980年、自己のトリオを結成、以後、様々なグループの結成、解体を繰り返しながら音楽シーンの最前線を目指す。同時に内外のミュージシャンとのセッションも活発で、2005年春には、ジム・オルークとの共同プロジェクトをスタート、『およばれ』『かなしい』『ズボンで』『ハ行』『ちかもらち 空を飛ばし!』などの作品を発表、昨年、ジム・オルークの編成したオーケストラと“ちかもらち”の共演が話題を集めた。また近年はヨーロッパのミュージシャンとのセッションも多く、毎年ヨーロッパ各地をツアーする。これらは、『ARASHI』など数多くの作品として記録されている。

田中悠美子 (たなか・ゆみこ)

義太夫三味線、語り

東京芸術大学大学院修士課程にて音楽学専攻。文楽および女流義太夫の人間国宝に義太夫三味線を師事。1990年度芸術選奨文部大臣新人賞。2009年義太夫節保存会会員として重要無形文化財総合認定。国内外における現代音楽作品の演奏、即興演奏、シアター作品や映画音楽の作曲・演奏、演芸パフォーマンスなど、実験的で多彩な表現活動を行う。共著『まるごと三味線の本』『schola vol.14日本の伝統音楽』。CD/DVD『tayutauta』。日本伝統音楽研究センター共同研究員。新感覚エレキ大正琴バンド“JETA”を主宰する。

山本達久 (やまもと・たつひさ)

ドラム

1982年山口県出身。防府市の“bar印度洋”を拠点に、様々な音楽活動、イベントのオーガナイズなどを精力的に行う。上京後は、ソロや即興演奏を軸に、Jim O'Rourke、石橋英子、須藤俊明との様々な活動をはじめ、オハナミ、カフカ軒、石橋英子ともう死んだ人たち、前野健太とソープランダーズ、NATSUMEN、石原洋 with Friendsなどのバンドに参加。そして、ex.芸害、青葉市子、UA、カヒミカリ、木村カエラ、柴田聡子、七尾旅人、長谷川健一、phev、ヤマジカズヒデ、山本精一、Gofishなど歌手の録音、ライブサポートにも参加。更には、SWANNY、マームとジプシーなどの演劇の音楽も手懸ける。2011年にはロンドンのパービカンセンターにソロパフォーマンスとして招聘されるなど、海外公演、録音物も多数。



渋谷区文化総合センター大和田
 SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 渋谷区桜丘町23-21
<http://www.shibu-cul.jp>

アクセス1：渋谷駅より徒歩5分
 国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスターの間に位置します
 アクセス2：大和田シャトルバスまたはハチ公バス(タヤけこやけルート)にて
 乗車時間約2分
 バス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

●お問合せ

渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務局
 (受付時間 平日10:00~19:00 土日祝日10:00~17:00)
 TEL 03-3464-3252 FAX 03-3464-3289